

Kob-0-1
Kob-1-1

2006年度(34回)年次大会計画案

2005.8.26

実行委員長 金子 博

副委員長 新谷 幹夫

1. 期間: 2006年6月22日(木)、23日(金)、(+24日)

一応、24日も予備として確保してあるが、2日間を基本に考える

2. 場所: 東邦大学 理学部 (習志野キャンパス)

〒274-0072 船橋市三山 2-2-1 TEL: 047-472-7208 (学事課)

京成大久保から徒歩 10 分、JR 津田沼からバス 10 分+徒歩 1 分

(津田沼まで東京から 30 分、別紙参照)

3. 会場: (予約状況)

講堂 (500 人) プロジェクター、無線 LAN (特別講演、総会)

大教室 (150 人) プロジェクター、無線 LAN、各席コンセント (VC)

中教室 (100 人) 3 室 プロジェクター、無線 LAN、各席コンセント

(年次大会一般・企画・学生)

小教室 (70 人) 3 室 壁にポスターが貼れる、無線 LAN、壁に電源多数

(ポスターセッション VC、年次大会)

会議室 (100 人) 理事会、委員会用

PAL (生協食堂、200 人) 懇親会用

4. 共催等

共催: 情報処理学会グラフィックスとCAD研究会、東邦大学、

日本大学生産工学部、千葉工業大学 (打診中)

同時開催: Siggraph-Tokyo (打診中)

CG-ARTS、千葉情報サービス産業協会? (あまり画像関係はないが)

5. 実行体制

- (1) 今年度大会なみに 100 件近くの投稿が一般講演に集まると、委員長・副委員長では対応が難しい。そこで前年度実行委員会の提言を受け、以下の委員会を実行委員会のもとに組織し、プログラム作成、投稿呼びかけなどを組織的に行えるようにしたい。

- ・アドバイザー委員会: 運営に関する助言を頂くほか、投稿呼びかけなどのバックアップをお願いする。
 - ・プログラム委員会: 一般・学生セッションの投稿状況等の把握、プログラム作成、座長の依頼などを行う。
 - ・運営委員会: 会場の準備、運営などを行う。
- また、各委員長は実行委員会副委員長を兼任する。

K06-1-2

(2) 体制

実行委員長：金子 博

〃 副委員長：新谷 幹夫

アドバイザー委員長：小川 克彦（副会長）

プログラム委員長：高橋 時市郎（総務理事）

運営委員長：新谷 幹夫

各委員会委員選任については理事会で一任を受けているので、推薦をお願いします。

幹事：・2005年度理事；栗原 恒弥（編集理事）、黒沢 俊晴（財務理事）

・小町VMA委員長、小林多次元委員長、安達画像ミュージアム委員長、

・松本企画委員長、・VC担当幹事

委員：企画委員会委員

6. 大会実行案

(1) 名称： Media Computing Symposium 2006

—2006年度 画像電子学会 第34回年次大会—

(地名はあえてつけない方が...)

(2) テーマ

未定。特に設けず、幅広い参加を期待するのも一案。「学会の意思」があれば従う。

(3) セッション構成

①一般・学生セッション：発表賞選定の方程式を内規化しましょう。

②企画セッション：今年度はどうしますか？

③VCシンポジウム

④特別講演：2件もしくは3件

・Siggraph-Tokyoから1件

・画像と知覚、佐藤隆夫（東大）

・VCの展望、鳥脇純一郎（中京大？）

・あほう鳥の復活、長谷川（東邦大）

(いずれも未交渉)

(5) その他

2005年度技術賞展示（6/22、23）、総会（22）、理事会（22）、

懇親会（22）

7. 委員会スケジュール

「委員会スケジュール表」を参照。ただし、第5回（4月21日）に関しては、
プログラム委員会、VC委員会と調整のうえで決定したい。 以上

① ② ③
the organized meeting
with
the 2nd
in 2006!